

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」稲田堤校		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 1日		～ 2024年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	53	(回答者数) 46
○従業者評価実施期間	2024年 12月 1日		～ 2024年 12月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援を通して、利用者様一人ひとりの個性や良さを伸ばしてもらえるようなサポートが行える。	利用者様本人の意思を尊重したサービスを提供する為、適宜利用者様やご家族への聞き取りを行っています。	より丁寧なサポートを行っていく為に、定期的な面談を実施し、利用者様や保護者様のニーズの把握を行っています。
2	長期休暇等の期間には、年齢を問わず楽しめるイベントやワークショップを開催している。	職員研修を行ったり、講師を招いたりしながら、開催するイベントやワークショップの充実を図っています。	通っている利用者様の興味関心を把握し、より楽しめる内容を計画していきます。
3	地域の関係機関(幼稚園・保育園・学校等)との繋がりを大切にしている。	定期的な訪問や、ケース会議に出席することで、利用者様の状況の把握を適切に行えるようにしています。	地域との連携を充実させていけるように、日々の情報共有や訪問等の機会を増やしていきたいと考えています。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ご家族の対応力向上の為のペアレントトレーニングや、ご家族が参加できる研修の場の設定及び情報提供。	保護者様向けの研修情報の提供(チラシやSNS等)は行っていますが、事業所として保護者様に対するペアレントトレーニングは十分に行うことができていません。	ペアレントトレーニングを目的とする研修を定期的に計画し、保護者様へのサポート体制も整えていきたいと考えています。
2	教室内での活動が中心となる為、地域の他の子どもと活動する機会が少ない。	個別支援を行う教室になる為、地域の子どもたちと関わる機会が少ない状況となっています。 学校が終わった後に通室してもらっている為、地域の交流の場に行くことが難しい状況となっています。	地域の子どもたちを教室に招き、利用者様と交流できるような行事を開催できないか検討していきます。
3	父母会、保護者会等の開催頻度が少ないことにより、保護者同士の交流機会が少ない。	年間のスケジュールの中で、父母やきょうだいが参加する行事が少ない状況となっています。	保護者様やきょうだいが自然と交流できる場所や行事等を定期的に計画していきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 どもサポート教室「きらり」稲田堤校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 2025年 1月 31日

回収数 46

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	46	0	0	0	・身体を動かすには、十分の広さが確保されている。	利用者様の状況に応じて、活動スペースを適宜調整するようにしています。(粗大運動・創作活動・学習課題等)
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	44	2	0	0		利用者様に安心して過ごしてもらえるように、職員配置を調整します。職員の専門性を高められるように、今後も積極的に研修等に参加し、期待に添えるよう努めています。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	43	2	0	1		視覚的にも分かりやすいような配慮を行っています。(活動スペースやトイレ表示、掲示板、教材棚等)
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	45	1	0	0		日々、清掃や消毒を徹底しています。感染症が流行している時期には、こまめに消毒をしたり、換気を行っています。
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	45	1	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	44	1	0	1		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	45	0	0	1		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	43	0	0	3		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	44	2	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	43	1	0	2		利用者様の興味関心を把握し、意欲的に活動できるように配慮しています。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	10	9	20	7	・他団体等との交流は希望していない。	交流は行っていませんが、保護者様や学校からの要望があった際には、学校への訪問や見学を行っています。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	46	0	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	42	3	1	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	24	3	11	8	・行われていると感じている。	支援後の保護者様との振り返りや事業所内相談など通じて、家族支援を行っています。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	43	3	0	0	・校舎LINEでのやり取りができるので、直接話しにくいことも共有ができています。	利用者様の支援時の様子を適切にお伝えできるように努めています。(口頭・LINE等)成長や変化に関しては、良さの観点からお伝えできるように心がけています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	40	4	2	0		定期的な面談を実施しています。ご家庭の要望がある際には、当日でも対応できるようにしています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	44	1	0	1	・共感や、心配をしてもらっていると感じる。 ・(職員からの)メッセージに励まされる。	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされているか。	11	8	16	11	・兄弟も参加することができて、ありがたかった。	保護者会や座談会だけでなく、イベントなどの機会を設けていき、交流を行ってもらえるように計画していきます。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	39	4	0	3		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	42	3	0	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	34	6	2	4		教室内の掲示板や、インスタグラム、LINE等を用いて、教室の活動の様子が伝わりやすいように工夫をしています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	40	5	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	28	5	2	11		策定したマニュアルをもとに、定期的に各種訓練を実施し、計画書や実施記録等を保管しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	22	5	3	16		災害に備え、定期的に避難訓練を実施しています。有事の際に適切な行動がとれるよう、職員全体で共通理解を深めています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	36	5	0	5		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	26	8	2	10		非常時の対応、ケガや事故等が起きた場合の対応につきましては、契約時に説明してご了承いただいています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	46	0	0	0	・子どもの興味関心がころころと変化するが、それにも対応してもらえた。	適宜、利用者様の興味関心をアセスメントしていき、主体的に活動ができるように配慮しています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	45	0	0	1	・楽しみに通うことができている。 ・親に言いにくいことも、教室では話すことができている。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	44	2	0	0		利用者様、保護者様のニーズにお応え出来るように、今後も一人ひとりに寄り添った丁寧な支援を心がけていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」稲田堤校		公表日		2025年 2月 15日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・法令を遵守したスペースを確保しています。支援内容によっては、スペースを調整、変更しています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		利用者が安全に活動できるように、適切な人員配置を行っています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		入口にスロープ等は有りませんが、教室内は利用者が過ごしやすいように配慮しています。(教室内表示、支援スペースの安全面への配慮等)		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		職員だけでなく、利用者様及びご家族様の検温・手洗い・アルコール消毒にご協力いただいています。定期的に換気も実施しています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		必要に応じて、休息やクールダウンのできる場所を設定しています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期的に各種研修に参加し、職員全体の支援の質の向上を図っていけるよう取り組んでいます。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画に基づいた、サービスを提供しています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		教室全体で利用者様の支援を行えるよう、日々情報の共有をし、チームでの支援を行っています。	利用者様一人ひとりの支援プログラムを教室全体で立案できるよう、検討する場を適宜設定していきます。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		利用者様一人ひとりの思いを尊重した支援内容を検討しています。 利用者様の興味関心を把握し、意欲的に活動できるように配慮しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		利用者様のニーズに合わせて、個別と集団での活動が行えるよう、計画を作成しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		その日の支援について、職員全体で打ち合わせを行い、情報の共有を行った上で支援を実施しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		その日の支援について、職員全体で打ち合わせを行い、情報の共有を行った上で支援を実施しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎日の支援の記録を残し、利用者様の情報を教室全体で共有できるように努めています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		6か月(必要に応じて期間の短縮をすることも有り)ごとに、利用者様の状況に応じて、計画の見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		利用者様の意思決定を尊重し、主体的に活動ができるように配慮しています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			下校時刻等の確認については、保護者様を通じて行っています。今後、必要に応じて学校との情報共有も検討していきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			就学前だけでなく、就学後も通っていた園との情報共有を行い、利用者様の状況を共有させて頂いています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			移行支援を希望される方を対象に、関係機関との連携を行っています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			現在行っていない為、今後は定期的な研修への参加やスーパーバイズを受ける機会を設定していきたいと考えています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			現在行っていませんが、今後は地域との交流の場を増やしていけたらと考えています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			年間を通して参加できるように、調整をしていきたいと考えています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			利用日だけでなく、それ以外の日にも必要に応じて情報共有を行い、適切に利用者様の状況を把握できるように努めています。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			現在行っていない為、保護者様向けの研修会や座談会等の開催を検討していきます。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			分かりやすい説明を行うように努めています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			利用者様や保護者様の意向を適宜確認し、支援内容に反映させていくように努めています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			ガイドラインの指針及び、利用者様のより良い成長を目的とした個別支援計画を作成し、承諾のサインを頂いています。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		ご要望に合わせて、速やかに対応できるよう、心がけています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		現在開催することができていません。 今後は、保護者様、きょうだいが交流できるような行事の開催を検討していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		校内の掲示板やInstagram、教室LINE等を用いて、活動の様子が分かるようにしています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報が記載された書類は鍵付きキャビネットにて保管をしています。 個人情報にアクセスできる端末に関しては、パスワードを設定する等、適切な対応を行っています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		利用者様・保護者様の状況に応じて、ICTやその他の視覚的情報などを活用して意思疎通・情報伝達等を実施しております。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		地域から有志の方を招いて、折り紙教室を開催しています。今後も地域の方との交流を深めていけるような行事等を検討しています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		教室で実施した訓練の様子を、Instagram等を通じて発信したり、閲覧書類として手に取れるように設置したりしています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		災害に備え、定期的に各種訓練を実施しています。有事の際に適切な行動がとれるよう、職員全体で共通理解を深めています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		服薬をしている場合には、事前に確認を行い、行動や体調面を注意して見守るようにしています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。			該当無し	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		都度ヒヤリハットの記録を作成し、保管しています。 職員間で情報を共有し、同様の事象が発生しないよう、改善に努めています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		人権擁護・虐待防止等に関する研修に定期的に参加しています。研修で学んだことを、職員全体で共有できるように徹底しています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		利用者様の安全を確保するという観点から、行動の制止や制限等を行う可能性はあつたことをご説明し、同意を得ています。		